



第 19 号 千 町 田

発行元:(農)のきの郷
安来市利弘町 922-3
Tel/Fax:22-2580
発行責任者:河津 一行

アンケート結果を踏まえて
代表理事 山本耕一

郷に期待されること、出役への協力、将来の事業展開など意見要望を聞かせていただきます



これら皆様から頂いた貴重な意見要望は真摯に受け止め、前向きに改善に取組んでいきます。
つぎに、通常総会で提案をした新規事業導入の進捗状況について報告します。

当組合が農事組合法人に移行したので一部ご紹介いたします。
今年で4年目を迎えます。広報紙『千町田』の発行も同様です。『千町田』発行のきっかけは組合員のある方から「作業、活動など何をしているのかわからん。もっとだれんもにわかーやにしたら。」と言われたことです。法人組織として組合員への情報(報告)共有(連絡)し解決(相談)が欠落していたと反省し、回を重ねて発行しています。
しかしながら『千町田』で情報伝達をするも本当にうまく伝わっているか疑心を抱いていました。そこで2月の通常総会後に組合員の皆様にアンケートにて、のきの郷に期待されること、出役への協力、将来の事業展開など意見要望を聞かせていただきます

したので一部ご紹介いたします。
◇作業計画・作業日程等の周知
◇理事会・部会の協議事項の開示
◇連絡を密にしているような情報がほしい。◇補助金で黒字にするのではなく生産物での黒字化。◇食の安全のため除草剤の使用軽減。◇保有米・縁故米の品質アップ。◇新規事業への取組は良いが現状の管理体制では不安。◇無駄が多すぎる。◇若者が農業で生計を立てたいと思うような魅力的な法人を目指して欲しい。◇作業協力者が少なくなってくるので専従者を採用することを考えなければ運営は難しい。◇水稻のほかに別の作物に取組まなければ発展はない。

第3回なたねちゃんフェスタ

畑の中でなたねちゃんフェスタを開催しました。焼きそば、イチゴ、とまとなどを販売し、カイトやシヤボン玉、あてくじで子供たちにも楽しんでもらいました。穏やかな天気のか多数の方々にお越しいただきました。



①加工用キャベツ栽培は、JAとの契約販売で話を進め、9月初めに栽培面積1.2haで2品種を定植栽培しスタートする
予定です。栽培管理には12名の方に手を挙げていただいています。

②いちご栽培は、施設への初期投資に費用が掛かることから、国の支援事業である「農の雇用事業」やJAの支援事業を利用することで検討を進めています。

③建屋、ミニライスセンターについては、支援事業を利用することが非常に難しい状況であり、自己資金で対応するか否か、検討中
であります。



春作業が始まりました

4月17日(日)18日(月)にきぬむすめ、ハクトモチの種まきを行いました。2日間でのべ80名の方に役いたいただき420箱余りの種まきが無事終わりました。その他の品種についてはJAより緑化苗を購入しています。

また4月29日(金)から5月1日(日)までつや姫、コシヒカリ、WCS用稲の田植えや飼料用米などの直播が行われ、

5月26日(木)よりきぬむすめ、ハクトモチの田植えが始まり、順次にごまる、飼料用米の田植えへと続きます。

田植えが終わると麦、菜種の刈取



り、大豆の播種と作業は続きます。



能義小学校 田植え体験学習

5月10日(火)に能義小学校5年生10人が田植えの体験学習を行いました。はじめは恐る恐る田んぼに入っていました。田んぼに慣れてくると上手に苗を植えていくことが出来ました。

コシヒカリの田植え時に小学校近くの田んぼの一角を残しており、今回の田植えはそこで行いました。通学のために見えるところなので子供たちも稲の成長を観察できるでしょう。



保有米・縁故米申込みについて

保有米・縁故米の注文に漏れはありませんか？
まだ追加、修正可能ですので今一度ご確認ください。



いらっしやいませ

5月22日
雲南市加茂町
三代原圃場整備実行委員会
圃場整備の視察 様

5月だというのに夏日が続いています。まだ体が慣れないのにこの暑さなので熱中症に注意が必要です。水分補給と適度な休憩を心がけましょう。(カ)

